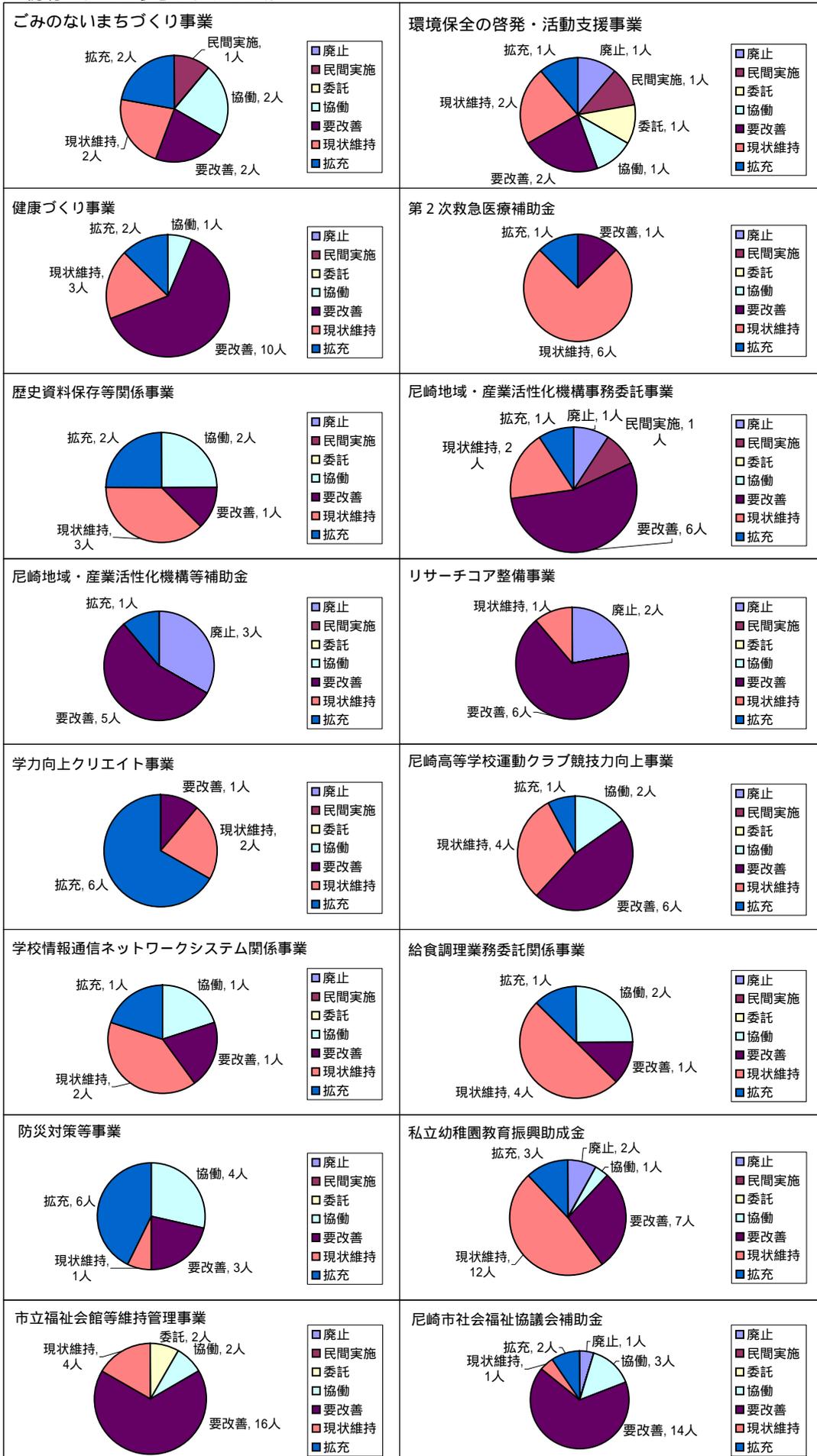


# 尼崎市公開事業たな卸し 来場者アンケート結果【各事業別】

傍聴されてどう思われましたか



各事業について

A-1 ごみのないまちづくり事業		
1	すぐには無理であるが、地域の担い手、地域活動にシフトすべき課題である。	協働
2	若者に浸透するように、又、市民が自発的に参加するような更なる仕掛けづくりも必要。	現状維持
3	シティプロモーションの一環として、どんどん拡充すべき事業だと思います。	拡充
4	企業から広告を得て業務課のブログを紙で発行していみたら良いのではないか。	拡充

A-2 環境保全の啓発・活動支援事業		
1	市民環境会議に何年も関わってきたが、残念ながら進捗のない姿に驚いた。	民間実施
2	NPOや企業の方が「質」「ニーズの先取り」を考えた事業ができると思う。	委託
3	啓発事業の難しさは、いかに担い手を育てるか、市がどの程度関与するか。少しずつ市民へシフトすべき。	協働
4	成果・目標の設定が曖昧であり、各事業について誰をターゲットにするのか、何を目標とするのか、より詳細に明確に設定すべきだと思う。	要改善
5	教育委員会（学校教育）との連携を考えた方が良い。	要改善
6	市職員の回答が多少不明瞭でわかりにくい。ただし、事業の中身は環境行政の重要性は必要であり、見直せる内容は見直して、今後も発展させるべき。	現状維持
7	環境への関心が世間的に高くなっている昨今、行政としてリーダーシップを取って事業を構築してくべきである。	拡充

A-3 健康づくり事業		
1	講座については媒体をもっと使い市民に認知されたら良いと思う。健康づくりが市民に浸透していないと感じた。	要改善
2	必要性は十分にある事業である為、対象をもっと明確にし、内容をつめ、参加者を増やして市民の意識を高めるために見直しが必要。	要改善
3	個人の意識の違いなどもあるため、ゆっくり改善していけばいいと思う。	要改善
4	健康づくりはすぐに結果がでないで、見直しと継続が必要。	要改善
5	健康づくり推進員のことはあまり知られていないような気がします。	要改善
6	市職員が高齢者の家に訪問し、食事管理をしてなるべくお金を使わないようにしたら良い。	要改善
7	市職員の説明や応答が分かりにくかったのでよく理解できなかった。	要改善
8	委員からの質問に対して市職員の答えがなかったり、説明がわかりにくい。最終的にどうしたいのか、いまいち分からなかった。	要改善
9	現時点において、休止しても問題ない内容が多数見受けられる。ヘルスアップ事業とのダブリが多く、住み分けができていない。	要改善
10	健康という枠組みが広く、何を問題とし、どういった意図や目的があるのかという点で中途半端に手広く事業を拡大して実施内容や最終的に目標としているものが何なのかがあやふやに感じる。	要改善

A-4 第2次救急医療補助金		
1	もっと救急医療を増やせたらいいと思いました。	現状維持
2	救急で運ばれたときなどに専門の先生がいなかったりすると困るので現状維持。	現状維持
3	救急車をうっかり頼まないよう注意するよう頑張ります。	現状維持
4	救急医療はニーズが高く、実情を聞くと止むを得ない。	現状維持
5	1人でも多くの人の命が助かるのであれば、支出は全然良いと思う。むしろ、もう少しお金をかけても良いと思う。	拡充

A-5 歴史資料保存等関係事業		
1	財産、尼崎の歴史的な話等、良いものがあるのに市民に周知されていないことに問題有。	協働
2	新しい情報発信の形を考えていかなければいけない時期にきていると痛感しました。	協働
3	歴史資料を集めてどうするのかが分からなかった。	現状維持
4	展示については、温度・湿度が重要。市民、企業、学校との協働が必要。	拡充
5	市のシティプロモーションの観点からももっと力を入れるべき事業である。	拡充

A - 6 尼崎地域・産業活性化機構事務委託事業		
1	直営で行うより効果的と説明されていたが何を持ってその理由が出てきたのか分からない。	要改善
2	機構への委託は馴れ合いになって来ているのではないか。事業的な卸しを機会に見直しが必要ではないか。	要改善
3	議論が対象事業というよりは、大きい産業の面でどうかということになっており、スレ違いの議論になっていた。	現状維持

A - 7 尼崎地域・産業活性化機構等補助金		
1	補助金が人件費に充てられている印象を受けた。	要改善
2	補助金を出す情報が曖昧。何を持って公益性があると見なしているのか分からない。	要改善
3	公益性について基準を明確にしても良いと思う。	要改善
4	個々の事業名称の工夫と、個々の成果の検証をするべき。	要改善
5	補助金の必要性は考えるべき点があるが、全庁的な視点は必要。	要改善

A - 8 リサーチコア整備事業		
1	黒字が拡大する支援とそれに伴う貸付の減額により、できるだけ早期に8億円の貸付が解消される取り組みを実施されたい。	要改善
2	減資の効果が出ればよいが、調達は困難が見込まれる。融資金額を徐々に減額するのみでは根本的解決にならず、難しい問題である。	要改善

B - 1 学力向上クリエイティブ事業		
1	小中学校の学力が上がってきているので、このまま維持していったらいいと思います。	現状維持
2	学校の先生達に、この事業を行うことにより生徒の学力が向上しているのか手応えを掴めているのかアンケートなどをとるものおもしろいと思う。	拡充
3	学力は人生を送る上での根本となる部分なので力を入れて進めていいと思う。ただ、民間への協力や連携をもっと積極的に取り入れていけないのではないか。	拡充
4	学力向上のためにも派遣し、地域の交流などももっと増やしていく必要がある。	拡充
5	教育委員会内に留まらず、他局や課との連携、情報の共有、地域人材の活用を求めます。	拡充
6	授業以外の勉強の援助と塾との分担は必ずいると思った。	拡充

B - 2 尼崎高等学校運動クラブ 競技力向上事業		
1	費用や個人のモチベーション維持など、携わる人がこれらも協力して取り組んで欲しい。	協働
2	市民にあまり知られない中で、1つの高校に特別な予算が使われているのは贅沢・不平等ではないかと感じた。	要改善
3	私立でなく市立と考えるとスポーツに沢山お金をかけることに疑問を感じた。特徴がある学校だと思いましたが、必要性については考えさせられた気がした。	要改善
4	お金について市民が知らないという部分は、市民が知る必要があると思う。	要改善
5	スポーツに力を入れていいと思うのですが、お金を少し掛けすぎかなと思います。	要改善
6	一校の問題というのではなく、市としてどういう位置づけをするのかということから見直しをしていくべき。	要改善
7	全国大会に出場している生徒も多く、このまま頑張ってもらいたいと思った。	現状維持
8	スポーツに縁のない方や否定的な反対の立場の方への情報公開やアピールをした方がよい。	現状維持
9	「スポーツのまち尼崎」 東の市船橋（千葉） 西の市尼崎（兵庫）を目指して。	拡充

B - 3 学校情報通信ネットワークシステム関係事業		
1	事業内容についてわかりにくいことが多かった。学校内でのパソコンによる仕事に見直しをするべき。	要改善
2	一日5分の為という説得力ではお金ももたない。必要性を感じない。各教室にTVというものもなくて良いと思う。	現状維持
3	パソコンは小学校の教員こそ必要であり、時間に余裕ができ子どもとの関わりが増える。時間はお金で買えないがお金で買えるパソコンは教員1人1台、市が用意して欲しいと思った。	拡充

B - 4 給食調理業務委託関係事業		
1	今の給食はつまらなくなった。献立が増えることは子どもが喜ぶから良い。	協働
2	これからの食育の推進のために直営から委託に切り替えれば良いという考えには納得できない。給食内容の充実を図るなら、職場環境を改善して欲しい。	要改善
3	全校委託よりも新しい調理器を導入することを優先し、内容の向上を優先して欲しい。	現状維持
4	直営から民間委託への移り変わりの時期で、段階を踏みより良い給食内容や食育の向上を市が目指していることがわかったので、この構想を柔軟に進めて欲しい。	現状維持
5	人員削減など効果は現れている。民間委託を行いながらも、「食育」に取り組まれている。	現状維持
6	個食・欠食など食に対する問題が多く、学童期からの食育は非常に大切であるため、期待を込めて拡充。	拡充

B - 5 防災対策等事業		
1	防災対策についての講座に、もっと多くの市民が参加してもらうための工夫などが必要。	協働
2	市民側の意識を醸成しなければ、真の防災は不可能。	協働
3	計画上の絵はよく見えるが、具体的手法が見えてこないと改めて思いました。	要改善
4	取り組まれていることは良いが、津波重視であったりと偏りがあると思う。	現状維持
5	人々の安全を守るには防災対策は「し過ぎる」ぐらいがいいと思う。	拡充
6	市民がしっかりと安全を感じることができるよう更に対策を進めて欲しい。	拡充

B - 6 私立幼稚園教育振興助成金		
1	保育士給料の官民格差を公表して欲しい。幼児教育に官民格差があるのはもってのほか。	協働
2	公立と私立に分ける必要性が感じられなかった。	要改善
3	助成した事業の効果がきっちり評価されていない印象を受けた。	要改善
4	助成金についての報告があまりにも不透明すぎる。	要改善
5	助成金の80万円を目的以外に使っている園をしばらく出せないのか気になった。	要改善
6	公立・私立の目指すべきもの、連携も考慮していく上で、このような助成金のあり方も充分に見直すべきだと感じました。	要改善
7	市の方がもっと現状を把握すべきだと感じました。	現状維持
8	市職員の説明では委員に説明不足。私立の保育時間、学年数は公立と違う。私立のニーズのが8割あるという高い原因を考えてみては。	現状維持
9	公立幼稚園は共働き家庭にとって難しい点（送り迎え、給食、預かり保育等）が多く、預けることは難しい。ニーズに応えてくれる私立を充実させて欲しいと願っています。	現状維持
10	私立の方が公立より親のニーズが高いため、私立にも助成金を市が出すべきである。	現状維持
11	公立に入るには、もっと時間を長くする、給食を取り入れる、預かり保育を実施する、職員の給料の見直しなどを考えれば、公立に入る人も増えるのではないかと。	現状維持
12	公立幼稚園が減少する要因は公立へいく子どもたちが減っているからだと思うが、では何故減っているのか。公立園の資質向上が望まれるのではないかと。	現状維持
13	助成金の各園一律80万円の基準が分からないが、大小の園もあるのもっと基準が明確に分かれば良いと思う。	現状維持
14	各園で必要な経費は違うため、助成金の根拠を明確にし、園も使い道をしっかり提出して欲しい。	現状維持
15	助成金が減額になるということは、保育料が上がるのかと不安になる。	現状維持
16	幼稚園の統廃合により今後ますます私立の必要性が求められると思う。	現状維持
17	職員の研修等は本当に必要だと思うので、私立への助成額増でもいいのではないかと。	現状維持
18	環境良く整備された幼稚園がたくさんあれば、尼崎に子どもを確保することができるので、幼児期を担う助成金は削らず、他の部署で削る内容があるのではないかと。	現状維持
19	各園からの研修報告書式が統一されていなかった事には驚きを隠せません。	現状維持
20	税金の使い方として、市立も私立も同一が望ましいと思うから。	拡充
21	市立が3歳児保育を実施していない中、私立幼稚園が保護者のニーズに対応している。	拡充

B - 7 市立福祉会館等維持管理事業		
1	耐震強化や修繕を行うことで、市民に関心や安心感を持ってもらえれば、利用者が増えると思う。	要改善
2	あまり使用されていないところを有効利用した方がいい。施設や廃園など売却した方がいいと思う。	要改善
3	加入率の低下に対し、非加入者対策が必要。	要改善
4	各施設の使用状況等は担当課で把握しておく必要があるのではないか。	要改善
5	当たり前のことと思いますが、各会館は収支報告を必ずするように。	要改善
6	施設の目的と実態、その効果がみえてこない。	要改善
7	設置の背景と今のニーズから考えて、ハードよりソフト面で徹底した見直しをして欲しい。	要改善
8	市民に任せていると言って、市職員が現状を知らない事が多い。	要改善

B - 8 尼崎市社会福祉協議会補助金		
1	大変重要な事業であると思いますので、予算を大きくするのではなく、市民との協働での取り組みを展開することを望みます。	協働
2	決算、事業を含め個々の実態確認が必要。	要改善
3	市からの加入促進の手立てがとられていない印象を受けた。	要改善
4	社協はあるべきものだと思う反面、実態がよくわからない。内容をもっと公開するべき。	要改善
5	補助金を受けている活動内容をもっと市民にアピールしていくことがいると感じました。	要改善
6	社協の活動範囲や内容が分からない。たくさんの加入や参加が見込める魅力的な活動を考えるべきだと思います。	要改善
7	本事業の補助金のみが社協の事業を表しているものではない。この部分だけを対象とする意味があるのか疑問である。	要改善